

## キリングroup報「きりん」が 2020年度の「経団連推薦社内報審査」雑誌・新聞型社内報部門において 「最優秀賞」を初受賞 ～映像部門でも「優秀賞」を受賞～

キリンホールディングス株式会社（社長 磯崎功典）の発行するキリングroup報「きりん」（以下、「きりん」）が一般社団法人 経団連事業サービス 社内広報センター主催の2020年度「経団連推薦社内報」の雑誌・新聞型社内報部門において、応募146作品中最上位である「最優秀賞」を初めて受賞しました。

「きりん」の「経団連推薦社内報」での受賞は2016年から5年連続であり、今回初めての「最優秀賞」受賞となります。また、「きりん」と連動して2020年4月より新たにグループ内で配信している動画「もっと！知っチャンネル」も映像部門に初めて応募し「優秀賞」を受賞しました。

### ●「経団連推薦社内報審査」について

- ・一般社団法人 経団連事業サービス 社内広報センターが1966年より毎年実施し、優秀社内報の推薦・表彰を行うものです。
- ・同審査では雑誌・新聞型社内報、WEB社内報、映像社内報の3部門で実施され、応募作品が自社の経営環境や社会環境を的確に反映した発行目的・編集方針を持ち、それをどれだけ実現しているかを複数の審査委員が多角的に審査し、作品ごとに講評をフィードバックされます。

### ●キリングroup報「きりん」について

- ・キリングroupの従業員を対象に約2万3000部季刊発行しているグループ報です。
- ・2007年に創刊し、キリングroupの国内外の従業員全員との唯一のダイレクトコミュニケーションのツールとして「経営方針とグループ情報の共有と理解促進」と「従業員のモチベーションアップ」を発行目的としています。現在はキリングroupの長期経営構想「キリングroup・ビジョン2027（以下KV2027）」および「2019年-2021年中期経営計画」の実現を目指すための「経営ツール」として発行しています。
- ・また、2020年度は新型コロナウイルスの影響による従業員の在宅勤務の増加に合わせ、ウェブビューワーを用いてパソコンやスマートフォンでの閲覧環境を整えたほか、特集企画と連動した動画「もっと！知っチャンネル」を制作するなど、メディアミックスの取り組みを加速させました。



### ●講評（抜粋）

主に30代の読者<sup>※1</sup>をメインターゲットに捉え、必要かつ役立つ情報をわかりやすいデザインを用いて簡潔に伝える」という編集方針に沿って、多彩な内容が表紙から裏表紙まで一分の隙なく見事に展開されています。すなわち経営トップメッセージにはじまりグループ各社の動きを押さえ、その後ボリューム感たっぷりの特集がでんと座り、さらに定例企画が安定感を持って続くという構成です。そこでは手抜きのあるページは一切なく、一つひとつの企画を取り出してもそれぞれ読みごたえがあり、十分納得感のあるものばかりです。これだけの内容でありながら分かりやすいデザインのためか重さを感じることはなく、ページをめくるごとに新たな発見に出会える楽しさにあふれています。

※1 キリングroupの成長を中核として支えていく30代のグループ従業員を主な読者ターゲットと位置付けて、編集をしています

キリングroupは、KV2027において「食から医にわたる領域で価値を創造し、世界のCSV<sup>※2</sup>先進企業となる」ことを目指しています。その実現に向けて、今後も従業員へのグループ報「きりん」を活用した情報発信や相互コミュニケーションを通じて、インターナルブランディングを強化していきます。

※2 Creating Shared Valueの略。お客様や社会と共有できる価値の創造